

ἐλευθερώω

エリュテロー

知っておきたいキリスト教のことば (36)

解放 かいほう

解放という語は、日常でも普通に使われる語です。貧困からの解放や奴隷からの解放など、束縛されていたり、制限されていたりするものを、ときはなつて自由にすることを意味します。

聖書の中でもその内容に大きな違いはないのですが、この「解放する」という語には、とても大きな神学的意味があります。

旧約聖書の創世記に続く書物、出エジプト記には、エジプトで奴隷だったイスラエルの民がモーセに率いられ、約束の地へと向かう物語が記されています。その出来事をイスラエルの人たちは「エジプトからの解放」として子孫に伝えていき、ずっと大切に覚えています。三大祭である過越祭も、この出来事に由来して始まったと言われます。

そして新約聖書において、イエス様がこの地に来られ、十字架につけられた出来事も、この「解放」という視点で考えることができます。

わたしたち人間は、生まれながらにして罪に支配されています。このときの「罪」とは、神さまに背き、神さまから離れていることをいいます。でもそのようなわたしたちが再び神さまと歩めるように、神さまはイエス様をお遣わしになったのです。

イエス様の十字架の血によってわたしたちの罪は贖われ、わたしたちは罪から解放された者となった。だからわたしたちは救われ、歩んで行ける。それがイエス様による罪からの「解放」なのです。

わたしたちは神さまの愛によって、自由な者とされました。その身を使ってどう生きていくべきでしょうか。

次回は「解放の神学」です。楽しみに。



「エジプト第七の災い」

ジョン・マーティン (1789~1854年)

あなたがたは、今は罪から解放されて神の奴隷となり、聖なる生活の実を結んでいます。行き着くところは、永遠の命です。

(ローマの信徒への手紙 6章 22節)

